

2006 年 取締役兼代表執行役社長・ＣＯＯ 知識賢治 年頭挨拶 < 要旨 >

ポイントの部分のみを抜粋致しております。

株式会社カネボウ化粧品

新年明けましておめでとうございます。健やかな新年を迎えられましたことをお慶び申し上げますとともに、昨年一年間の皆様のご努力に対し、心から感謝申し上げたいと思います。

1. 新社設立から昨年末までの歩み

1) 新社設立から平成 16 年度末まで

(1) 様々な経営改革を敢行

「ブランド統廃合」「流通別営業組織への改編」「新人事制度の構築」「国際事業の再構築」等々、その他にも数多くの経営改革に取り組みました。

(2) 一方で、風土改革にも着手

「組織の壁の打破」「正しいこと、あるべき姿を論じあえる風土」「矩を超える人材の育成 (= 出る杭を育てる風土)」

2) 平成 17 年度

企業価値の向上に向けた“成果の徹底追求”を目標に致しました。

結果として、再生計画を大幅達成することができ、再生 1 年目での営業黒字化が達成の見込みであり、全社中の皆様のご努力に改めて感謝申し上げます。

3) 昨年末、新株主が花王(株)に決定

(1) これにより、再生機構による再生期間を終了し、花王(株)の連結対象会社となります。

(2) カネボウブランドの価値を支えるカネボウ化粧品の独自性を維持し、カネボウブランドの価値を更に向上させるとともに、花王(株)とのシナジー効果を最大限に発揮するということであります。

2. 我々の進むべき方向、ビジョン

我々の進むべき方向について次のことが言えようかと思います。

1) カネボウ化粧品は花王(株)の連結対象会社として、新たなスタートを迎える。

2) カネボウ化粧品としての独自性を維持させながら、カネボウブランドの価値の向上を、従来通り目指していく。

3) 当面の課題としては、新たな成長戦略である中期経営計画の完遂を目指す。

4) 一方で、花王(株)とのシナジー効果を発現させ、相互の事業価値、ブランド価値の向上を目指す。

5) これらのことにより、国内外の同業他社に対して、個々にまたグループとして確固たる競争上の優位性を確立する。

3. 社員に望むこと

最後に、新年を迎えるに当たり、全社員に望むことを申し上げます。

1) 気持ちを新たに、一緒に新しいスタートを切ろう。

2) “すべてを、お客さまの満足のために。”という言葉を実践しよう。

- 3) 各個人が、現状の仕事に加え、“明日に繋がる新たな成果が見込めること”に積極的にチャレンジして欲しい。
- 4) マネジメント層の人達へ
強いマネジメントリーダーを目指して欲しい。

今年のカネボウ化粧品の新たな歴史の幕開けであります。
皆様にとって素晴らしい一年になりますよう祈念して、年頭の挨拶と致します。

最後に、今後それぞれの道を歩むことになるカネボウ株式会社のご発展を心よりお祈り致します。

以 上